

二八〇三番

里中さとなかに 鳴なくなる鷄かけの 呼よび立たてて いたくは鳴な  
かぬ 隠こもり妻づまはも

二八〇四番

高山たかやまに たかべさ渡わたり 高たか々たかに 我あが待まつ君きみを  
待まち出いでむかも

二八〇五番

伊勢いせの海うみゆ 鳴なき来くる鶴たづの 音おとどろも 君きみが聞き  
さば 我あれ恋こひめやも

二八〇六番

我わぎ妹子もこに 恋こふれにかあらむ 沖おきに住すむ 鴨かもの浮う  
き寝ねの 安やすけくもなき

二八〇七番

明あけぬべく 千鳥ちどりしば鳴なく 白しろたへの 君きみが手たま枕くら  
いまだ飽あかなくに